

## 報告書抄録

ふりがな	しもぎたいきゅうばらだい1いせき							
書名	下甲退休原第1遺跡							
副書名	一般国道9号（中山名和道路）の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次	Ⅷ							
シリーズ名	鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	56							
編著者名	加藤裕一、門脇隆志、高橋章司							
編集機関	鳥取県埋蔵文化財センター							
所在地	〒680-0151 鳥取県鳥取市国府町宮下1260番地 TEL (0857) 27-6711							
発行年月日	2014（平成26）年3月18日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡 番号					
しもぎたいきゅうばらだい 1遺跡	とっとりけんさいほくぐん 鳥取県西伯郡 だいせんちやうしもぎあき 大山町下甲字 たいきゅうばら 退休原1041-494 外	313866	大山5- 245	35° 30′ 28″	133° 34′ 30″	20120412 ～20121220	5,043㎡	一般国道9号 （中山名和道 路）の改築
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
下甲退休原第 1遺跡	集落	旧石器時代		石器ブロック		台形石器、小石 刃		
		縄文時代		集石土坑、落と し穴		縄文土器、石器		
		弥生時代		竪穴建物跡、土 坑		弥生土器		
要約	<p>下甲退休原第1遺跡では、旧石器時代から弥生時代にかけての遺構、遺物を検出した。</p> <p>旧石器時代では、AT火山灰下の白色ローム中から約35,000年前の石器ブロックを検出し、県内で最古の旧石器遺跡であることが判明した(下層)。ソフトローム上部から漸移層にかけてからは、小石刃を主体とする石器群が出土した(上層)。</p> <p>縄文時代では、早期の集石土坑の他、後期から晩期にかけての落とし穴群を検出した。</p> <p>弥生時代では、後期の竪穴建物跡やそれに付随する貯蔵穴・土坑を検出した。</p>							

鳥取県埋蔵文化財センター調査報告書 56

一般国道9号（中山名和道路）の改築に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅷ

鳥取県西伯郡大山町

## 下甲退休原第1遺跡

発行 2014年3月18日

編集 鳥取県埋蔵文化財センター

〒680-0151 鳥取市国府町宮下1260番地

電話 (0857) 27-6711

発行者 鳥取県埋蔵文化財センター

印刷 株式会社鳥取平版社

〒680-0845 鳥取市富安1丁目79番地







